

第 21 回広島県障害者技能競技大会

ワード・プロセッサ 競技課題 1

和文競技（制限時間 40 分）

以下の指示に従い、別紙作成例の文書を作成し提出しなさい。

- 以下の○付き番号は、作成例の各セクションと対応している。○付き番号は作成しない。
- 指示以外の設定内容については、作成例（別紙）を参照し、最も適当なものを選択する。
- 作成に必要な画像やテキストファイルは、デスクトップの「アビリンピック令和文素材」フォルダにあるものを使用する。

◆ 文書の設定

① 新規文書を作成し、ファイルを保存する。

- 保存場所はデスクトップの「アビリンピック」フォルダとする。
- ファイル名は、「ゼッケン番号(半角) 氏名 和文課題」とする。例「02 宇品太郎 和文課題」
※ゼッケン番号、氏名、「和文課題」の間には全角 1 文字分のスペースを入れる。

② 文書に次の設定を行う。

- ページ設定のフォントの設定で
日本語用のフォントを[MS 明朝]、英数字用のフォントを[(日本語用と同じフォント)]にする。
- 印刷面の上余白を[20mm]、下・左・右余白を[15mm]にする。
- 1 行の文字数を[50]、1 ページの行数を[50]にする。
- 段落の設定で[1 ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる]をオフにする。

③ ヘッダーの右側 上から[7mm]の位置に ゼッケン番号(半角) 氏名を入力する。

※ゼッケン番号と氏名の間には、全角 1 文字分のスペースを入れる。例「02 宇品太郎」

④ 作成例のようにページ罫線を設定する。

- 線の種類は 3 本線、太さ [3pt]、色は[青]で文書の本文を囲む。
- 本文から[10pt]の位置、本文内容の背面になるように設定する。

◆ 本文内容の設定

⑤ タイトル「たすけあいボランティアの募集」をワードアートで作成し、作成例のように配置し、次の設定を行う。

- フォントを[HGP 創英角ゴシック UB]、フォントサイズを[30]、フォントの色を[青]にする。

■ 文字の輪郭の色を[白]、太さを[1pt]にし、影を右下、形を[大波 1]にする。

⑥ タイトル(⑤)の左上に画像「logo.png」を挿入し、作成例を参考に位置とサイズを調整する。

⑦ タイトル(⑤)と画像(⑥)の背面に図形[波線]を作成し、塗りつぶしの色は[オレンジ]、上方向のグラデーションにし、作成例のように変形する。

⑧ 「1時間単位での…」から「参加ご希望の方は…」までの段落の文章を全角文字で入力する。

■ 「A」、「C」、「E」で始まる段落の前には1行分の空行を入れる。

■ 「B」、「E」、「F」で始まる段落に続く内容は、テキストファイル「B.txt」、「E.txt」、「F.txt」をそれぞれ挿入して利用する。

■ 指定のない段落の配置は作成例に合わせる。

⑨ 「活動場所・内容・日時」と「ボランティア参加方法」の段落に次の設定を行う。

■ 段落全体に背景色が[青]の網掛けを設定する。(網掛けの種類は指定しない。)

■ フォントを[HGP 創英角ゴシック UB]、フォントサイズを[16]、フォントの色を[白]にする。

■ 文字の横幅の倍率を[150%]、文字の間隔を[広く]し、間隔を[5pt]にする。

■ 段落前・段落後の間隔を[0.5行]にする。

⑩ 「A」～「F」で始まる段落に次の設定を行う。

■ 段落全体に背景色が[緑]の網掛けを設定する。(網掛けの種類は指定しない。)

■ フォントを[HGP 創英角ゴシック UB]、フォントサイズを[12]、フォントの色を[白]、[太字]にする。

■ 「B」、「D」、「F」で始まる段落のみ、段落前の間隔を[0.5行]にする。

⑪ 「▼」で始まる段落に次の設定を行う。

■ フォントを[HGP 創英角ゴシック UB]、フォントサイズを[11]、文字の横幅の倍率を[90%]、先頭の「▼」のみフォントの色を[オレンジ]にする。

■ 段落前の間隔を[0.5行]にする。

■ 段落の下に太さ[0.5pt]の[オレンジ]色の実線を引く。

⑫ 「▼」で始まる段落に続く活動内容と日時についての段落のフォントを[MS P明朝]にする。

⑬ 「活動場所・内容・日時」の内容（「A」で始まる段落の1行上の空行から「ボランティア参加方法」の1行上の段落まで）を3段組にし、次の設定を行う。

■ 段の間隔は[2字]程度、段の幅は1段目と3段目を[11.5字]、2段目を[23字]にする。

- 「A」、「C」、「E」で始まる段落の前の空行の行間を[固定値]、[1pt]にし、「C」、「E」の前の空行には段区切りを設定する。

⑭ 「C」、「D」で始まる段落の活動内容と日時は2列1行の表内に配置し、次の設定を行う。

- 外枠は罫線なし、内側の縦線は線種を3重線、太さを[3pt]、色は[白]にする。
- 表のセル内の余白は上下左右すべて[0mm]にし、列の幅を揃える。

⑮ 「D」で始まる段落の前の空行に 画像「map.png」を挿入し、作成例を参考に位置とサイズを調整する。

⑯ 挿入した画像(⑮)上にテキストボックスを作成例のように配置し、次の設定を行う。

- それぞれ全角の「A」～「F」を入力し、フォントは[HGP 創英角ゴシックUB]、フォントサイズは[11]、フォントの色は[白]、[太字]にする。
- テキストボックス内の余白は上下左右[0mm]にし、文字を中央に配置する。
- 塗りつぶしの色は[緑]、枠線なしにする。

⑰ 用紙右下に 画像「pc.png」、「sp.png」を挿入し、作成例を参考に位置とサイズを調整する。

⑱ 挿入した画像(⑰)の左に、図形[吹き出し：角を丸めた四角形]を作成し、作成例のように配置する。

- 枠線の色は[オレンジ]、塗りつぶしの色は[白]にする。
- フォントを[HGP 創英角ゴシックUB]、フォントサイズを[12]にする。
- URLは半角で入力し、フォントサイズは[16]、フォントの色は[青]に設定する。

⑲ 「電話:082…」の段落を入力し、次の設定を行う。

- 英数記号文字は、全て半角にする。
- 「電話」～「FAX」の番号までのフォントを[HGP 創英角ゴシックUB]、フォントサイズを[12]にする。
- 「電話」・「FAX」には、囲み線を設定する。
- 「一希」・「春海」には、ルビ「かずき」・「はるか」を設定する。

⑳ 作成例のようにページの最後に脚注を挿入する。

- 脚注番号は「E：公民館」に「*」、「電話」に「†」が表示されるように設定する。
- 脚注のレイアウトを[2段]に設定、作成例のように文字を全角で入力する。